

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-69	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	現B 334	新編 現代文B		

1. 編修の基本方針
<p>(1) 言葉により培われてきた文化や伝統の価値を知り、たしかな国語力を育成する。</p> <p>(2) 近代以降のさまざまな文章の読解や批評を通して「自己」を確立し、他者とともに生きる力を育成する。</p> <p>(3) 社会に関心を持ち、その発展に役立つ論理的思考力や表現力を育成する。</p>

2. 対照表		
図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【第一章】		
随想 (一) ~ (二)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小説を書く際に言葉を選ぶことにまつわる小説家による随想の読解を通して、創造性を培い、真理を求める態度を養うようにした (第1号・第2号)。 ・ 会議通訳者が自身の職業について述べた随想を読むことにより、自分の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにした (第2号)。 	<p>8~12 頁</p> <p>178~184 頁</p>
小説 (一) ~ (四)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 描かれている出来事に対する登場人物たちの心情理解を通して、自他の敬愛を重んじる精神を育めるように配慮した (第3号)。 ・ 工業高校で学ぶ登場人物の心情を理解する過程で、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮した (第3号)。 ・ 自分で選んだ仕事を通して成長する人物が登場する小説の読解を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにした (第2号)。 ・ 戦時中の状況を描いた小説を読むことで、戦争の悲惨さを理解し平和について考えることができるようにした (第5号)。 	<p>20~29 頁</p> <p>78~107 頁</p> <p>130~165 頁</p> <p>30~47 頁</p> <p>78~93 頁</p> <p>186~196 頁</p>

評論 (一) ～ (二)	<ul style="list-style-type: none"> 失敗の効用を説く評論を読み、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うようにした (第1号)。 生物の進化について触れ動物グループそれぞれに「生き方のパターンがある」と論じた評論を読み、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした (第4号)。 ロボットと人間の未来を考察した評論により、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにした (第3号)。 人のアイデンティティを保証する「変わらない光景」に価値を見いだす評論を読み、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにした (第5号)。 	50～58 頁 59～67 頁 112～119 頁 120～128 頁
詩	<ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞を通して、生命の尊さについて理解し、自他の敬愛を重んじる精神を育み、豊かな情操を養うことができるように配慮した (第1号・第3号・第4号)。 詩の鑑賞を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことができるようにした (第2号)。 	70～71 頁 72～73 頁
短歌	<ul style="list-style-type: none"> 個人の創造性や自主の精神を養い、豊かな生活を送る力が身につくように配慮した (第2号)。 自国の文化の特徴について考察できるように配慮した (第5号)。 	74～77 頁
ズームアップ・解説	<ul style="list-style-type: none"> 教材に関連したテーマの理解を深めたり、読書活動につなげたりできるように工夫し、幅広い知識と教養を身につけられるようにした (第1号)。 	13 頁 48 頁 他
【第二章】		
随想 (一) ～ (二)	<ul style="list-style-type: none"> 世界の広がりを目を向ける随想と読書に誘う随想の読解を通して幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことを目指した (第1号)。 	198～206 頁 208～213 頁
小説 (一) ～ (二)	<ul style="list-style-type: none"> 「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」を合わせ持ち虎となった登場人物の性情について考察を深める中で、真理を求めて豊かな情操を育めるように配慮した (第1号)。 描かれている出来事に対する登場人物たちの心情理解を通して、自他の敬愛を重んじる精神を育めるように配慮した (第3号)。 	214～231 頁 234～249 頁 304～329 頁
評論 (一) ～ (三)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統色について述べた評論を通して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにした (第5号)。 主体的、能動的に「驚く」ことの重要性を論じた評論により、創造性を培い自主および自律の精神を養うことを意図した (第2号)。 	250～256 頁 330～339 頁
詩	<ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を 	292～293 頁

	<p>養うことができるようにした（第2号）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞を通して、生命の尊さについて理解し、自他の敬愛を重んじる精神を育み、豊かな情操を養うことができるように配慮した（第1号・第3号・第4号）。 	294～298 頁
俳句	<ul style="list-style-type: none"> 個人の創造性や自主の精神を養い、豊かな生活を送る力が身につくように配慮した（第2号）。 自国の文化の特徴について考察できるように配慮した（第5号）。 	300～303 頁
表現編	<ul style="list-style-type: none"> 広告を作成する活動を通して、創造性や自主性を培い、表現することの楽しさや大切さを理解できるようにした（第2号）。 調査結果をまとめて報告する活動を通して、知識と教養を身につけて、協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき社会の発展に寄与する態度が養えるよう配慮した（第1号・第3号）。 「働く目的」についての小論文を作成する活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことや、勤労を重んずる態度を養うことができるようにした（第2号・第3号）。 	356～361 頁 362～367 頁 368～371 頁
ズームアップ・解説	<ul style="list-style-type: none"> 教材に関連したテーマの理解を深めたり、読書活動につなげたりできるように工夫し、幅広い知識と教養を身につけられるようにした（第1号）。 	207 頁 232 頁 他

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 教材本文下段では、専門性の高い用語などに脚注を設け、円滑な学習ができるようにした。
- 教材本文下段では、本文内容を理解したり読み味わったりするためのきっかけとなる脚注問を設け、「読むこと」の学習が適切に行えるようにした。
- 教材本文下段左では、語彙を豊かにするため、教材本文中の熟語や慣用句をまとめた。
- 教材末尾では、「確認」「学習」「発展」「ことばと表現」の各設問を設け、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の指導事項や言語活動を具体的に提示した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-69	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	現B 334	新編 現代文B		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 教材は、近代以降のさまざまな文章を収録し、教材を通して生徒のものの見方・感じ方・考え方が広がり深まるよう留意した。
- (2) 随想は身近で親しみやすい内容の文章を中心にし、授業で扱いやすくなるよう配慮した。また、評論はさまざまな題材テーマを揃え、多角的な視点を養えるようにした。
- (3) 小説は高校生のうちに読んでおきたい近代小説を柱に、現代小説も多めに収録した。
- (4) 教材の随所に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について相互に関連した発問を取り入れ、文章を的確に理解し、適切に表現する能力を円滑に高められるよう配慮した。
- (5) 各題材末に設定した設問「てびき」において、教科書全体で「読解着眼点」に沿った段階的な読解力養成ができるように配慮した。論理的文章では文脈理解から要旨把握へとといった読解の手順、文学的文章では心情・場面・表現などを丁寧に読み取って的確な作品理解へとといった読解の手順を身につけることができるようにした。
- (6) 読書や言語活動、実用的な文章の収録など、実生活とのつながりも重視して、現代の社会のなかで人生を豊かにする態度を育てるよう配慮した。
- (7) 表現に関連する学習は、具体的で実用的になるよう配慮した。
- (8) 教材に関連するテーマや文学史理解を深めることができ、人生を豊かにしていくことに役立つコラム「ズームアップ」を随所に設けた。
- (9) 第二章に「文学の扉」、巻末資料編に「近現代文学史年表」、見返しに参照用資料を掲載して、学習の手助けとなるようにした。

2. 対照表

図書構成・内容		学習指導要領の内容								該当箇所 (頁)				
		内容(1)				内容(2)					「内容の取り扱い」に 関して特に 取り上げた 項目			
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ			エ		
第一章	随想 (一)	輪郭と空洞 ズームアップ オノマトペ	○	○			○					(2)	8 ~ 13	
		素直に生きる	○		○		○						14 ~ 19	
	小説 (一)	彼らが失ったものと失わなかったもの		○	○		○						(2)	20 ~ 29
		鉄のしぶきがはねる ズームアップ 現代小説		○	○		○	○					(2)	30 ~ 49
	評論 (一)	失敗談	○				○					○		50 ~ 58
		進化と適応 ズームアップ 具体例	○				○							59 ~ 69
	詩	未確認飛行物体		○							○			70 ~ 71
		表札		○	○		○							72 ~ 73
	短歌	短歌		○	○		○				○	○		74 ~ 77
	小説 (二)	花のような人		○			○	○						78 ~ 93
		山椒魚 ズームアップ 井伏鱒二		○	○		○	○					(2)	94 ~ 111
	評論 (二)	ロボットと人間の未来	○		○		○		○					112 ~ 119
		建築とは何か ズームアップ 評論重要語	○				○							120 ~ 129
小説 (三)	こころ ズームアップ 夏目漱石		○	○		○	○					(2)	130 ~ 169	

図書の構成・内容			学習指導要領の内容								該当箇所 (頁)			
			内容(1)					内容(2)				「内容の取 り扱い」に 関して特に 取り上げた 項目		
			ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ			エ	
第一章	随想 (二)	若き友人たちへ	○			○	○							170 ~ 177
		伝える極意 ズームアップ 敬語	○		○		○							178 ~ 185
	小説 (四)	蘭		○	○		○	○						186 ~ 196
第二章	随想 (一)	初めに世界があると知る ズームアップ 同音異義語	○	○	○		○							198 ~ 207
		塩一トンの読書		○	○		○					(2)		208 ~ 213
	小説 (一)	山月記 ズームアップ 中島敦	○	○			○	○				(2)		214 ~ 233
		無用の人		○	○		○							234 ~ 249
	評論 (一)	文化としての色 ズームアップ 「つまり」に注意	○				○							250 ~ 257
		子どもの言葉	○			○	○							258 ~ 265
	随想 (二)	弱いつながら	○		○		○		○					266 ~ 271
	評論 (二)	「内的成長」社会へ ズームアップ 問題提起	○		○		○							272 ~ 281
		ホンモノのおカネの作り方	○	○	○		○							282 ~ 291
	詩	発車		○	○		○							292 ~ 293
		永訣の朝 ズームアップ 宮澤賢治		○	○		○					(2)		294 ~ 299
	俳句	俳句		○	○		○				○	○		300 ~ 303
	小説 (二)	ひよこの眼		○			○							304 ~ 321
		朝のヨット		○	○		○	○				(2)		322 ~ 329
	評論 (三)	胆力について	○	○			○							330 ~ 339
		手の変幻 ズームアップ 筆者の主張	○	○	○		○		○					340 ~ 349
	文学の 扉	明治の名作 森鷗外『舞姫』(あらす じ) ズームアップ 森鷗外		○								(2), (4)		350 ~ 355
	表現編	表現1 広告	○	○	○		○				○		(2), (4)	356 ~ 361
表現2 報告書		○		○	○	○				○	○	(4)	362 ~ 367	
表現3 小論文		○		○		○			○	○		(4)	368 ~ 371	